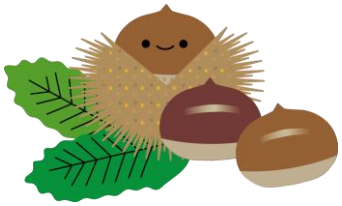


Plus RMA



第27号
2026/10/1
一般社団法人 RMA

CONTENTS

SNS時代の危険性と4つのロス（その2）…… 宮川 雅明 2
新規開設セミナーのご紹介 …… 4
見学会開催のお知らせ …… 5
RMA 2026年度下期セミナー開催予定表 …… 6
事務局だより …… 8

SNS時代の危険性と4つのロス（その2）

～新しいロス～

一般社団法人RMA理事
一般社団法人 ネット情報信頼性機構 代表理事
経営コンサルティング会社 代表取締役
元）英国国立ウェールズ大学（UWTSD）大学院特定教授
宮川 雅明

SNS の年齢制限

2026 年 5 月末、サミットに先立ち G7 デジタル相会合が開かれた。青少年を SNS 依存・有害情報から守る 7 つの共通原則が確認された。概要を紹介する。

① 年齢確認（Age Verification）の徹底～例）利用開始時に確実な年齢確認を行う
② 年齢に応じた初期設定（Safety by Default）～例）アカウント作成時、未成年は自動的に安全設定がオンする。
③ SNS 依存（Addiction）を防ぐ設計～例）過度なスクロール誘導・通知連打など“中毒性デザイン”の抑制。
④ 有害コンテンツ（特に性的搾取）からの保護～例）児童ポルノ・性的搾取・リベンジポルノの即時削除。
⑤ 保護者による管理・可視化（Parental Controls）～例）子どもの利用状況（時間・閲覧カテゴリ）を保護者が確認できる。
⑥ 透明性と説明責任（Transparency & Accountability）～例）アルゴリズムが未成年にどんな情報を届けているかを開示
⑦ 企業・政府・市民社会の協働（Multi stakeholder Approach）～例）プラットフォーム企業、政府、学校、専門家が連携する。

こうした規制は、欧米においては、公的機関、大学、医療機関などが実証データの集積から分析・導かれた結果であり、実被害として増え現在そして将来、社会問題化する構造にあることを前提としている。構造的問題であるので国及び国家での取り組みとなっていることを理解すべきである。

ネット被害

SNS の危険性といえばネット被害である。ネット被害は「種類が増え」「深刻化し」「低年齢化し」「見えにくくなっている」という 4 つの方向で増加している。つまり、多様化している。

（1） SNS 型いじめ～グループラインからの排除、誹謗中傷など。
（2） 性的被害の急増～自撮り要求、リベンジポルノなど。
（3） 課金・詐欺・情報搾取～ゲーム課金、フィッシングなど。
（4） 依存・睡眠障害・学力低下～睡眠不足や SNS 比較による自己肯定感の低下など。

ネット被害をあげればきりがなく、増加傾向にある。

4つのロス

2025 年、国連 IGF（インターネット・ガバナンス・フォーラム）オスロ大会において、「4つのロス」について

発表させていただいた。

（1）経済的ロス

例えば、2023 年は SNS 被害が増えた年で、フィッシング詐欺だけでも 450 億円以上の被害が出ているとのこと。手口も多様化しており、メールだけでなく SMS（スミッシング）や音声（ビッシング）、ディープフェイク動画などが使われ年々急増する傾向にある。

（2）知的ロス

ネット情報に過度に触れる、または常態化することで、自身で考える力を弱めてしまう、或いは失ってしまう可能性がある。

（3）社会的ロス

今後予想されるのはソーシャルコストの増大である。ネット犯罪の増大、フェイク情報による社会不安、個人情報漏洩や誹謗中傷などによる被害などの社会問題に対し、コストをかけて対処する必要がある。そのコストは恐らくは税金で賄われることになる。

安心と信頼は異なる。安心にはコストを要する。

また、プラットフォーマーとしての責任、情報を発信する企業の責任も求められる。それにはコストを要する。そのコストはサービス価格に反映されることになる。

（4）精神的ロス

結論からいえば、アイデンティティの喪失リスクである。考えずに答えを求める。考えるのは時間の無駄で面倒だ。人は「思考費用」を避ける傾向にある。

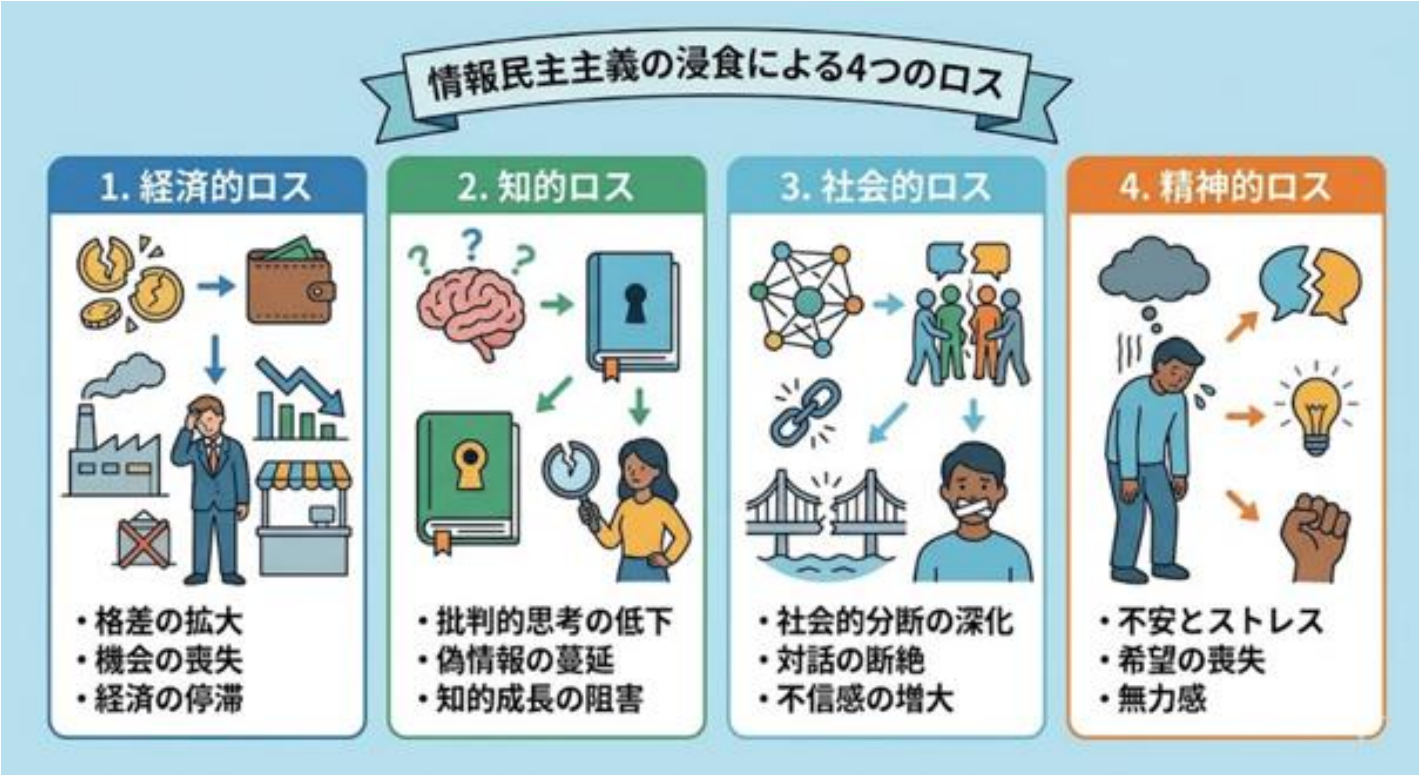
好みの情報、閲覧頻度が高い領域をアルゴリズムは察知し、類似の情報を頻繁に繰り返し提供してくる。

こうした習慣が結果として視野を狭くし、限られた情報に過度に影響され、結果として自分が何者か見失う可能性が高くなる。

AI 時代突入である。個人、組織、社会の情報リテラシーが求められる。

試験所は社会の情報リテラシーといってよいだろう。

（この内容は個人の見解であり、組織を代表するものではありません）



新規開講セミナーのご案内

2026 年 10 月～2027 年 1 月に新たに開講するセミナーをご案内します。

ISO/IEC 17043:2023：技能試験に求められること
（10月19日・オンライン　半日開催）

JIS Q 17043:2025 が改訂版として、ISO/IEC 17025:2017 と整合性を取る形で発行されました。発行から 3 年を過ぎ規格の旧版からの移行も済んだ今、技能試験を提供し、効率的に利用していくという目で技能試験を学ぶためのセミナーです。

◆受講対象者◆

・技能試験提供者の方。
・提供者となることをお考えの方。
・自主技能試験を含む形で提供することを模索されている方、特に管理的な要員の方。
・技能試験参加者として規格を理解し、技能試験参加によるメリットを享受したい方。

詳細はこちら👉 https://rma.tokyo/seminar_detail/210

試験所における計量トレーサビリティの確保と内部校正の利用
― 自己課題解決型演習セミナー ―
（1月 21日・東京　対面　1日開催）

演習を中心にした不確かさ評価を含めた内部校正の対面による 1 日セミナーです。ブロックゲージを計量トレーサビリティの参照標準として使い、ノギスの内部校正を事例として校正手順の作成や不確かさ評価などを講師と議論しながら一通りやり方を学びます。事例演習後、自分自身の校正課題についてやってみて、分からないところを講師と相談しながら内部校正を仕上げます。オンラインセミナーの後継として対面による講師と一緒に取り組む自己課題解決型実践セミナーです。

本セミナーは 10 月中旬よりお申込みを開始いたします。
詳細はお申込みの際の「セミナー案内」でご確認ください。

見学会開催のお知らせ 【RMA 会員様対象】

FAMIC(独立行政法人農林水産消費安全技術センター)様のご厚意により、2026 年 12 月 18 日（金）にさいたま市にある FAMIC 本部で見学会を RMA 会員様向けに開催します。

肥料中有害成分の原子吸光分光光度計分析、飼料中カビ毒の液体クロマトグラフィー分析、牛肉骨粉の DNA 分析、微生物や抗生物質、細菌の検査技術、食品の誘導結合プラズマ質量分析による産地判別技術など肥料、飼料、食品などに対する有害物質、微生物、細菌類の最先端分析機器と最新同定技術が見学できます。また、FAMIC の皆さんとの技術的な知見をシェアできる機会もあります。

皆様のご参加をお待ちしています。

見学会名称：RMA 第 33 回見学会
～FAMIC(独立行政法人農林水産消費安全技術センター)～

日時・場所：2026 年 12 月 18 日（金）13:30～15:00 さいたま市 FAMIC 本部

募集人数：15 名（先着）

詳細・お申込み方法につきましては、こちらをクリックしご確認ください。（RMA ウェブサイトの「お知らせ」欄にも掲載しております。）

また、**マイページ登録されている会員様にはメールでもご案内しております。**

RMA 2026 年度下期 対面型セミナー 開催予定表

※ 諸事情により日程は変更する場合がございます。

No.	対面型セミナー ※3か月前からお申込み可能となります	会場	受講料（消費税込）		2026年度					
					2026年			2027年		
					下期					
			会員	非会員	10月	11月	12月	1月	2月	3月
規格解説セミナー					10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	第83回 ISO/IEC 17025 規格解釈と運用セミナー（東京） “要求事項の解釈はこれでいいの？—判断の難しい事例を踏まえて”	東京	¥33,000	¥66,000		11/5				
2	第4回 ISO/IEC 17025による試験所業務能力強化セミナー（大阪） —ケーススタディで説明能力と説得力アップ—	大阪	¥33,000	¥66,000			12/8			
内部監査員養成セミナー					10月	11月	12月	1月	2月	3月
3	第125回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー（2日）（東京）	東京	¥66,000	¥132,000	10/20 21					
4	第126回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー（2日）（大阪）	大阪	¥66,000	¥132,000		11/10 11				
5	第127回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー（2日）（東京）	東京	¥66,000	¥132,000			12/15 16			
6	第128回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー（2日）（東京）	東京	¥66,000	¥132,000					2/16 17	
7	第7回 ワンランクアップ ISO/IEC 17025 内部監査員セミナー（2日）（東京）	東京	¥66,000	¥132,000	10/29 30					
8	第8回 ワンランクアップ ISO/IEC 17025 内部監査員セミナー（2日）（東京）	東京	¥66,000	¥132,000						3/11 12
試験技術セミナー					10月	11月	12月	1月	2月	3月
9	第5回 ISO/IEC 17025リスクから考える試験、不確かさとトレーサビリティ（東京） —演習で学ぶ、試験の質管理、トレーサビリティと校正—	東京	¥33,000	¥66,000		11/30				
10	第1回 試験所における計量トレーサビリティの確保と内部校正の利用(仮)（東京） — 自己課題解決型演習セミナー —	東京	¥33,000	¥66,000				1/21		
11	第1回 環境分析における精度管理と事例処理(仮)（東京）	東京	¥33,000	¥66,000						3/4
不確かさセミナー					10月	11月	12月	1月	2月	3月
12	第10回 基本モデル事例で理解する不確かさ演習セミナー（東京）	東京	¥33,000	¥66,000			12/11			
食品、微生物分野セミナー					10月	11月	12月	1月	2月	3月
13	第22回 食品・生物系試験所のための内部監査員養成セミナー（東京）	東京	¥33,000	¥66,000		11/18				
臨床検査分野セミナー					10月	11月	12月	1月	2月	3月
14	第5回 JIS Q 15189:2026 内部監査員養成（JIS Q 19011準拠）＆マネジメントレビューセミナー（東京）	東京	¥33,000	¥66,000		11/27				
製品認証セミナー					10月	11月	12月	1月	2月	3月
15	第5回 ISO/IEC 17065 規格解釈と製品認証（東京）	東京	¥33,000	¥66,000						3/19

RMA 2026 年度下期 オンラインセミナー 開催予定

※ 諸事情により日程は変更する場合がございます。

No.	オンラインセミナー ※3か月前からお申込み可能となります	会場	受講料（消費税込）		2026年度					
					2026年			2027年		
					下期					
			会員	非会員	10月	11月	12月	1月	2月	3月
規格解説セミナー					10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	第4回 はじめてのISO/IEC 17025（半日）	オンライン	¥16,500	¥33,000	10/15					
2	第32回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎（担当者コース／Basicコース）（半日）	オンライン	¥16,500	¥33,000			12/3			
3	第33回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎（担当者コース／Basicコース）（半日）	オンライン	¥16,500	¥33,000					2/4	
4	第27回 一歩進んだISO/IEC 17025の活用（ラボ管理者・中堅要員ｺｰｽ／Advancedｺｰｽ）（半日）	オンライン	¥16,500	¥33,000				1/19		
内部監査員養成セミナー					10月	11月	12月	1月	2月	3月
5	第17回 ISO/IEC 17025 オンラインによる内部監査員実践セミナー（2日） ― ロールプレイによる指摘演習 ―	オンライン	¥66,000	¥132,000						3/25 26
試験技術セミナー					10月	11月	12月	1月	2月	3月
6	第1回 遺伝子・核酸関連試験における ISO/IEC 17025セミナー（仮）（半日） ― 認定取得を考えるための視点 ―	オンライン	¥16,500	¥33,000					2/25	
不確かさセミナー					10月	11月	12月	1月	2月	3月
7	現場で役立つ 2026 不確かさセミナー：検量線・校正直線を用いた時の不確かさ評価	オンライン	¥33,000	¥66,000					2/5	
臨床検査分野セミナー					10月	11月	12月	1月	2月	3月
8	第4回 ISO 15189:2022（JIS Q 15189:2026）規格概要解説オンラインセミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000	10/9					
9	第4回 臨床検査室のためのリスクマネジメントセミナー ～ISO 15189, ISO 22367をより理解するために ～（半日）	オンライン	¥16,500	¥33,000	10/16					
マネジメントセミナー					10月	11月	12月	1月	2月	3月
10	第15回 オンラインで学ぶラボラトリのリスクマネジメント（半日）	オンライン	¥16,500	¥33,000						
11	第16回 オンラインで学ぶラボラトリのリスクマネジメント（半日）	オンライン	¥16,500	¥33,000				1/26		
製品認証セミナー					10月	11月	12月	1月	2月	3月
12	第4回 オンラインで学ぶISO/IEC 17065 製品認証とファンクショナル・アプローチ（半日）	オンライン	¥16,500	¥33,000		11/25				
技能試験セミナー					10月	11月	12月	1月	2月	3月
13	第1回 ISO/IEC 17043:2023：技能試験に求められること（半日）	オンライン	¥16,500	¥33,000	10/19					

事務局だより

2026 年度下期のセミナー開催予定を掲載します

2026 年度の RMA セミナー（対面型、オンライン）を **6~7 ページ**に掲載しました。
新規開講セミナーもご用意しております。ぜひご覧ください。
なお、最新のセミナー開催予定は RMA ウェブサイトのトップページ（https://rma.tokyo）にございます、「セミナー」タグの「2026 年度セミナースケジュール」でご確認いただけます。
セミナーの詳細は各セミナーのご案内またはセミナーカテゴリーをご覧ください。

セミナーお申込みは開催日の
約３か月前から可能です。
ご受講をお待ちしています！



【RMA 会員様対象】見学会のお申込みをお待ちしています

独立行政法人農林水産消費安全技術センター（FAMIC）様のご厚意のもと、12 月 18 日（金）に RMA 第33回見学会を実施することとなりました。皆様のご参加をお待ちしています。

編集後記

このたびの集中豪雨により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と、一日も早い日常への復帰をお祈り申し上げます

今年もあと3か月となりました。年頭あれもやろうこれもやろうと考えていたことが、まだまだできておらず焦りを感じてきました。10月以降はお天気の良い日が続き活動しやすくなるとよいなと願うばかりです。

事務局　編集担当　中澤

発行：一般社団法人 RMA
表紙写真：事務局職員撮影

東京都品川区西五反田 1 丁目11-1
アイオス五反田駅前 502号
03-6417-3400
jimukyoku@rma.tokyo
https://rma.tokyo